

暮らしを守る 下水道

下水道は、日常生活の快適さを支えるだけでなく、地震や大雨などの災害時にも重要な役割を担っています。今回は、下水道の役割や災害対策などを紹介します。

☎下水道経営課 92-3031

9月10日は下水道の日です

立春から数えて220日にあたる9月10日ごろは、台風が多く昔から「二百二十日」と呼ばれ、天候が悪くなる厄日とされてきました。下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に台風シーズンである二百二十日にちなんで、9月10日と定められました。



下水道の役割

身近な自然環境を守る

汚れた水を下水処理場できれいにし、川や海などの自然環境を守ります。



まちを清潔に保つ

下水道を整備し、汚れた水が直接まちに流れなくなることで、害虫や悪臭の発生を抑え、まちを清潔に保ちます。



浸水からまちを守る

雨水をすみやかに排除し、浸水や洪水を防ぎ、市民の命と暮らしを守ります。



災害に備える下水道の取り組み

地震対策

マンホールトイレ

マンホールトイレは、災害で通常のトイレが使えなくなった時に、避難所で使えるトイレです。下水道管にあるマンホールの上にトイレユニット(便座・個室テント)を設置して使用します。現在は、広域避難所である小・中学校や高校を中心に整備を進めています※一部の広域避難所は下水道が通っていないため、仮設トイレ(くみ取り式など)を配備しています



マンホールトイレ

マンホールトイレの特性

高い耐震性

耐震性の高い下水道管を使用しています。

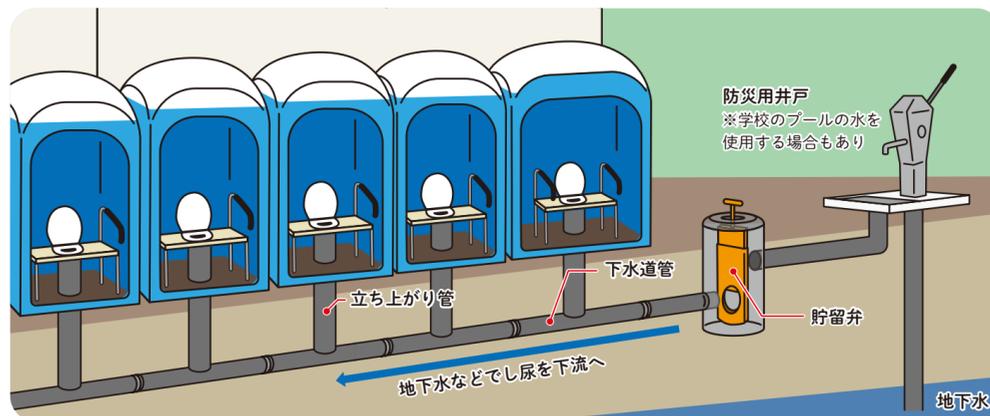
衛生的

し尿を直接下水道に流すため、衛生的です。

バリアフリー設計

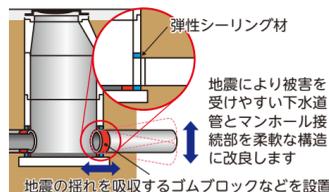
各避難所に設置するトイレユニットのうち2台(男性用・女性用各1台)は、障がい者も安心して使用できるように設計されています。

マンホールトイレの仕組み



下水道管の耐震化工事

下水道管は地中に埋められているため、大規模地震の際に接合部分はずれる、外れる、ひび割れるなど破損する恐れがあります。耐震化工事を行い、マンホールと下水道管の接続部を柔軟な構造に改良することで破損を防ぎ、災害時にも下水道の機能を確保できるように取り組んでいます。



大雨に備えて家庭でできること

内水ハザードマップを活用しよう

「内水ハザードマップ」は、大雨時に下水道管や水路からの浸水が想定される区域や浸水する深さのほか、避難方法や避難所などの情報をまとめたマップです。市役所で配布しているほか、市ホームページからも確認できます。



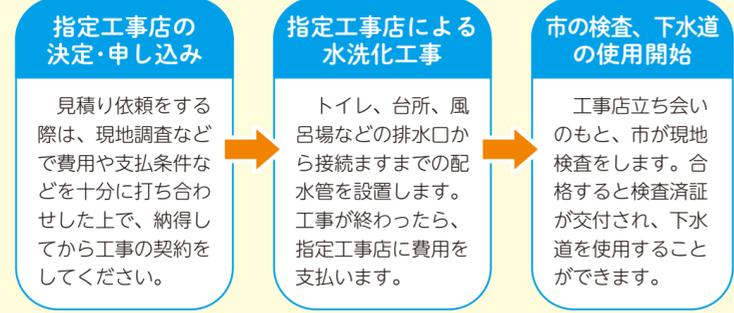
災害時に備えて備蓄を整えよう

大雨や地震などの被害で上下水道が一時的に使用できなくなる場合があります。万が一に備えて、飲料水や携帯トイレなど最低3日分、できれば7日分の備蓄を整えましょう。

下水道の接続をお願いします

下水道は、快適な生活を守るための大切な施設で、皆さんの水洗化工事*のご協力があるはじめて能力を十分に発揮することができます。下水道が接続できる地域にお住まいの方は、下水道への水洗化工事をお願いします。
*お風呂や台所の水を下水道に流すための排水設備を設置したり、くみ取り便所を水洗便所に改造したり、浄化槽を廃止したりする工事

水洗化工事の流れ



水洗化工事の一部を助成します

下水道の供用開始日から工事完了届を提出した日までの期間によって、補助金額が異なります。供用開始から3年を超えての申請は無効になりますので、早めの接続をお願いします。

市職員が直接訪問してご案内しています

供用開始後、公共下水道を利用できる区域内で、下水道に接続されていない建物に身分証明書を携帯した職員が戸別訪問し、建物の現況調査と公共下水道への接続の案内を行います。不審に思った際は身分証の提示を求めてください。

下水処理施設見学会

下水道施設の役割や仕組みについて理解を深めるための見学会を実施します。

とき 10月19日(日)午前9時30分～11時30分、午後2時～4時
ところ アクアクリーンセンター 定員 各回40人(申込順)※小学生以下は保護者同伴

申込み 9月3日(水)～19日(金)に市ホームページから電子申請 市ホームページ



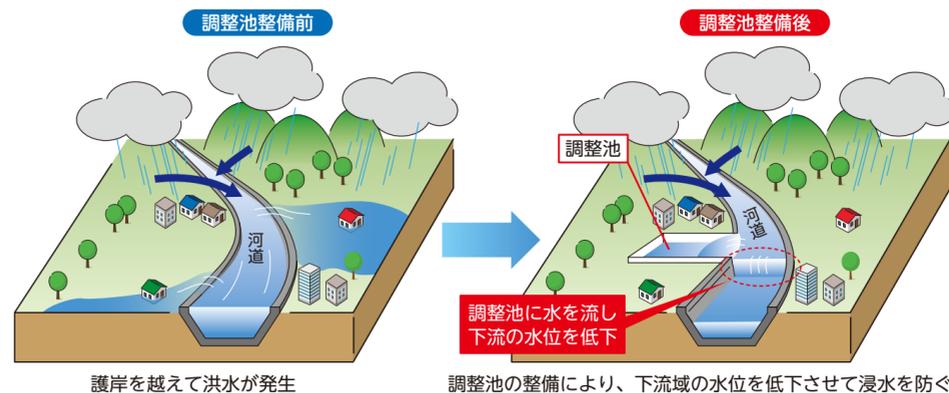
浸水対策

調整池の役割

調整池は、急激な河川の増水などから周辺地域の浸水被害を防ぐための貯留施設です。現在、市が管理している調整池は42カ所あり、面積や形はさまざまです。地上式・地下式があり、住宅地や公園内、工業地帯など、多様な場所に設置されています。



東部第二号調整池



市内の貯留施設に潜入

貯留施設は、雨水を貯めるための施設です。公園や学校の地下にもあります。



千津ふれあい公園の地下



成瀬小学校付近の地下

浸水防除ポンプ

浸水防除ポンプは、大雨が降った際に雨水が道路や住宅地に浸水しないよう迅速に排水するため、重要な役割を担っています。いざという時に、地下に設置された貯留施設や水路などから水を引き込み、効率的に排水することで、下水道管や水路などから雨水が溢れるリスクを軽減させています。



たまった水をポンプで勢よくくみ上げて排水します。